

私こと「南斗六星子」の歩み 15

第一幕 幼少期から学生時代（二十歳まで）

幼少期の思い出・二編 33

ランプと小灯の下で 37

上野隆君との邂逅 41

出席日数が足りない 47

〔学生時代〕

農学校から農林専門学校へ 51

「あらた」で出会った「よき師」たちの言葉 59

戦後の混乱期―ア・ラ・カルト 63

三浦虎六先生と渋谷正健先生 67

「農協運動」の道にたどり着くまで 77

「邂逅」のありがたさ 81

第二幕 農協連時代・前期（二十歳～二十八歳まで）

県農協連に就職する 89

虎六先生と虎二さん。鹿児島での出会い 93

落選のたたり二十年 97

勇躍！ 大隅の地へ、『三国志』を携えて 105

農協草創期のリーダーたちに学ぶ 111

〔農業研修所〕

「農業研修所」の一期生に選ばれる 121

東畑四郎先生の思い出 127

ああ、大槻正男先生 135

松村正治さんのこと 139

第三幕 農協連時代・中期（二十九歳～四十四歳まで）

君は去るべきだ！ 去れっ！ 147
難航した果樹園芸課長就任 157
沖縄みかん貿易の再生と県果樹協会の設立 163
泣いて笑った「一揆」の人々 171
「お辞めになる潮時では……」 181

第四幕 農協連時代・後期（四十四歳～六十歳まで）

信連推進部長へ、そして参事へ 191
午年生まれの農協連「三人組」 197
「九州地区農協オンラインセンター」の設立 203
全国から注目された「マンパワー計画」 207
学経常務制の導入と常務就任 211
大不祥事「鹿児島市農協事件」に対処する 215
「はちまん語録」 223

農協連を去るにあたって 229
感動した役員退任セレモニー 237
「新樹燃ゆ……」——退任あいさつ状—— 239

第五幕 還暦から古稀へ（六十歳～七十歳まで）

〔鹿児島総合研究所〕 243

「鹿児島総合研究所」に四年余り 243

〔専門学校〕

専門学校の校長に招かれる 247

「一能ひとのうの時代」へ 253

〔食文化関係〕

「かごしまの食を語る会」のこと 257

「美しい食の姿」を 261

「食の神話」Ⅱそのウソと真実Ⅱ 268

「焼酎の五徳談義」 273

「四季桜」の仇を「新政」で 276

本格焼酎【敬天愛人Ⅱはかり飲みⅡ】を造る
筍の王様『緑竹』が登場

286

282

〔有機農業関係〕

一楽照雄さんと平瀬実武さんの思い出

292

〔九州農村文化協会〕

「生活農業論」つれづれ草

298

第六幕 残しておきたいもの

純心学園PTAの思い出

311

純心短大学長・河野純徳先生の思い出

315

嗚呼！湯前 巖さん

319

塗木春志さんを偲ぶ

323

「恕」の人・重吉榮五郎さん

329

私の「尊厳死」運動（その一）

331

日台農協の姉妹盟約ものがたり（その一）

343

前田正名翁の墓にたどりつく

349

第七幕 半生を顧みて

「あらたA二六会」のこと

357

納骨堂もいっしょのクラスメート

361

故佐方壽さんへの弔辞

365

南日本新聞夕刊「思うこと」三編

369

南日本新聞「論点」——農人の世界は循環と共生

375

私の宗教観

381

私の闘病体験と健康管理

385

私とお金とのつきあい

391

私と政治活動

395

私の趣味

399

第八幕 わが家族

妻・京子と結婚する 407

京子は下宿屋のオカミさん 411

自宅を新築―借家住まい―マンションへ 417

朋子と周朗についての覚え書 421

亡き母の故郷を訪ねて 430

年譜 437

あとがき 441

装幀 片平美保

第一幕 幼少期から学生時代

(二十歳まで)